

活用方法3

図表等と文章を関係付けて、必要な情報を読み取るための指導に対応

グラフや図表と文章を結び付けながら 記事を読む

＜学習の効果＞ ～育成される資質・能力～

- 記事のグラフや図表などと文章の結び付きから、必要な情報を見付け、文章を読み解く力が育成される。

学習指導要領との関連

国語 第5・6学年

〔思考・判断・表現等〕 ①読むこと (精査・解釈) (説明的な文章)

ウ 目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付けたり、論の進め方について考えたりすること。

＜学習方法＞

記事の文章と図表を結び付けながら読み、自分の考えを深めよう

～わたしたちが住んでいる山形の“今と未来”を伝える～

(5時間扱い)

国語第5学年との関連:教科書の文章を学習した後の、新聞記事のグラフや図表等の資料を基に、意見文や提案文を書く(学習「国語五 銀河」光村図書(P148～)・「ひろがる言葉 小学五下」教育出版(P10～)・「新しい国語 五」東京書籍(P151～))

(学習に取り組む前に)

- 教科書の文章を学習した後に、新聞記事を活用して、意見文や提案文を書くことを児童に知らせ、学習の見通しを持たせる。
- 可能であれば、1か月分くらいの新聞を用意する。

1 過去の新聞を見て、図表やグラフを用いて山形の“今”を伝える記事を選ぶ。 (1時間・ワークシート)

山形の“今”を伝える記事を探し、記事の中にある図表に注目しながらわかることをまとめる。※意味のわからない言葉を調べる。

わたしたちが住む山形の“今”と未来を伝えよう				
(二時間目)				
(組番号) (名前)				
新聞を通してわたしたちが住む山形の“今”を知ろう。				
一 図や表などがある新聞記事を見つけて読む。				
(新聞・令和 年 月 日) (曜日)				
新聞記事を読む				
⑤	④	③	②	①
言葉	読み方	意味		
三 “今”の山形について、分かったことを順くまとめてみよう。				

2 筆者が、図表やグラフを使った意図と効果を考え、要旨を捉える。

(2時間・ワークシート)

- 書き手や読み手の立場から考えながら、改めて記事を読む。
・「記者や読者の立場になってみて、もう一度ていねいに新聞記事を読もう」

県内交通事故 最少ペース

過去10年と2020年の交通事故発生状況

県警が薄暮時対策 ◇ コロナで交通量減

(2020年12月31日山形新聞)

ここがポイント！
記者の立場から「～を伝えたいのではないか。」や、読み手の立場から「この図表のおかげで～」と考えることを通して、図表などの効果を考える。

このグラフがあると、ここ3年間で、発生件数や負傷者数が、大きく減っているのがわかりやすい。

ここがポイント！
色分けしたサイドラインを引き、事実と原因を捉える。

県内交通事故が、年々減少していることを伝えていると思う。夕方の警察の対策や新型コロナウイルス感染拡大が、事故が減った原因とわかった。

私たちが車を運転している10年後の2030年も交通事故数は減少していると思う。そのために自分は・・・

- 事実と原因を分けながら、記事の要旨を短い文章でまとめる。

3 新聞記事にある図表を用いて意見文を書く。(2時間 ワークシート)

- 文中における図表やグラフの位置を考えながら、意見文を書く。
- まとめた文章を読み返し、整える。

こんな方法もあります

- タブレット等を活用して、図表などの画像や音声で説明を入れるなどしてそれぞれが保存する方法もあります。
- 「将来の暮らし」について図表などを活用しながら考えるなど、キャリア教育として活用する方法もあります。

こんなテーマもあります

「環境問題」「山形の文化」等、特定のテーマに絞ることもできます。SDGsの17の目標&169のターゲットも参考になります。